

# 読む



# ビタミン

地域に根ざす工務店

・リフォーム店を元気にするビタミンです。

## 2018年12月号

### 今月のひと言

### 今年もツイてた！

さて、1年つつがなく過ごせたのは、誰のおかげ？  
実は「誰かが見守ってくれていた」から、かも。  
今まで生きてきた中で、「誰かが見守ってくれた」とか「見えないところから  
ガイドされていた」ような経験をされた方も、多分いらっしゃるでしょう。

もちろんそんな体験を人に語っても「偶然の好運だよ」と言われてしまいそ  
うですが、作家の遠藤周作さんもそんなことをエッセイで記していました。

世の中は非科学的なことを信じる者をバカにするが、私は人から非科学  
的といわれようと、「誰かが守ってくれている」ことをかたく信ずる者の一人  
である。

亡くなった母、兄、妻、子供—そういう自分に先立った人が彼岸からじっと  
現世を我々のことを心配してくれていて、我々が危険な目に遭おうとする  
時、必至になって助けようとしている—

それを信じるのは個人の自由だし、信じないのも個人の自由である。  
私は自分の自由によって「誰かが見守ってくれている」を信じるし、また自分  
があな世にいけば「誰かを見守ろう」と考えるに違いない。

1年を振り返って、目には見えない誰かに「ありがとうのつぶやき」を空に  
向って。ちょっと、こころ休まるかも、知れませんが。

本年も最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。



工務店さんがいるところなら...

日本全国東奔西走どこへでも!

呑んで騒いで時折仕事。



# 渡り 旅日記



## 六十六合目 パンドラの箱

さてさて師走でございます。平成最後の師走です。



思えばこの平成、1987年1月7日、小淵さんのこの発表が今となっては懐かしいですなあ。あれから30年。みなさんにとってこの平成という時代はいかがなモノでしたでしょうか？平成初期は平成バブル、なんて感じで日本全体が浮かれ調子だったようですが、あれよあれよ

という間に、平成は長くて寒い時代となりました。

加えて多くの災害、多くの事件、多くの事故、多くの悪...

まあ、どんな時代にでもパンドラの箱を開けてしまう輩が必ずいて、悲しみや怒りや嫉みが溢れ出してしまうのでしょうかねえ。

でもね「パンドラの箱」ってその中身のほとんどは嫌なコトなんですけど、たった一つだけステキな言葉が入っているのです。

それは『希望』。

平成初期は30歳そこそこで、気力体力とも満タン状態。

平成最後は60歳を超えて、気力体力を無駄使いしない。

そして、新しい時代を子や孫に託していくのでしょうかね。

その新しい時代もきっと誰かがパンドラの箱を開けちゃうんだ。でもね、箱の片隅にある『希望』を勇敢な若者たちが

見つけ出すかもね。いや、きっと見つけ出す。

おいらたちは、若者がその希望とやらを見つけて出せるように、悲しみや怒りといった邪魔なゴミを出さないようにしてあげたい。

いかがです？ご同輩。

本年中はお世話になりました。迎えうつ新しい時代も何卒よろしくお願い申し上げます。皆様にとって新しい時代が幸せでありますよう。



12月16日  
大田区蒲田の駅前商店街が企画するクリスマスイベントに我がバンド WHOTA が参加しました。

有名ではないけど、プロのシンガーのかわいいお嬢さんも！歌、上手かったなあ〜。

